

## 支部間を超えた盛んな交流

人と人とのつなかりを大切に

青森県は現存1ふへく金融済済シテともなつてゐる38名の会員で成り立ムとフィンテックの現本州最北端に位

青森・八戸・弘前・状況にて講演会を開催した。今年は発達障害ではの「会合をもつて支部は少人

の6支部で活動している。事務局は東北三大祭の支援・啓蒙に結びつく取り組みをやめて、ある意味の交流に繋げて2018年度は

「ねぶ」は、開業医の青柳一郎が講師をお招きし、セミナーを開催する。

森市に置いてある。と保険業務—発達障害を発信した。

操る弘前・五所川原

開催され好評を得た損害 かさず「奥入瀬川クリー 開催することも多

車保険の特徴やアピール この活動は奥入瀬川クリ ある。昨今の気候

「自動車保険勉強会」の開催、奥入瀬川河川敷の清掃、広域災害を考慮し

月初旬に実施され700すべきか!」をア

名を起訴する市民・団体が、保険会社の損害賠償等の請求権を主張する。施行後の保険代理店におけ  
る参加するイベントで、昭 課社員を講師に

で37回を迎える。清掃じた経験・ソウハリの効果をアーバン講和55年から開始され、年々実際の損害が増加した。

毎回独自のセミナーを開催。活動後は「ジムズの掻み」で示していただき私達に力を入れ代理店業務の取扱いや抽選会、太鼓頃奏等が得以るようになります。

のレベルアップに取組んだり、アーティストとしての成長をめざすなど、多くの実績を残す。また、地域社会への貢献活動も積極的に行っている。

金融システムの現状を学ぶ加もあり支部内交流の場講演会終了後には  
（開催、会員）

社員との交流を  
一層、深めます。

ーン作  
十一  
る。

川クリ部セミナーにつながるテーマ

奥入瀬支那語も人と人との繋がり

事にでる音楽制作  
りたいと願つてい



## 奥入瀬川クリーン作戦



古部七之二

# 「活躍する地域の代協」

第9回

青森県代協